

資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物の再資源化の取り組み

廃棄物については排出量の削減とともに徹底した分別による再資源化を図ることが重要な使命と認識して取り組んでいます。

竜洋工場ではピアノ製造の過程で排出される木くず等の処分に使っていた木くずボイラーを大気汚染防止やダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に2003年に廃止しました。このため、ボイラー燃料としてサーマルリサイクルされていた木屑や木粉により廃棄物排出量が大幅に増加しました。その後、ピアノ製造の外注工程の竜洋工場内への引入れにとまなう廃棄物の増加がありましたが、歩留の向上など廃棄物の排出量の抑制を徹底して取り組み、廃棄物排出量を削減してまいりました。

カワイグループ全体の2015年度の廃棄物排出量は、環境3ヶ年計画の2012年の基準年に対して-1.1%でしたが、前年比では生産活動の増加の影響により、6%の増加でした。

再資源化につきましては、竜洋工場から排出される木くず等は全て再資源化(製紙原料、ボード原料、堆肥用、燃料用他)し、フェルトなどは堆肥化するなど環境負荷の低減に役立つように再資源化の取り組みを行なっています。

カワイグループ全体の再資源化率は、2011年度の89.4%から2012年度に96.0%に上昇し、さらに2015年度は99.7%(前年比+5.3%)を達成しております。

今後も廃棄物の再利用、再資源化を検討し、再資源化率の向上を目指します。

リサイクル・リユースの取り組み

拡大生産者責任を踏まえて、循環型社会形成推進のため、ピアノの再生利用と再使用(リユース)を推進するために(株)ピアノリサイクルを1998年に設立しました。現在では竜洋工場内のリサイクルグループが本事業を担当しています。

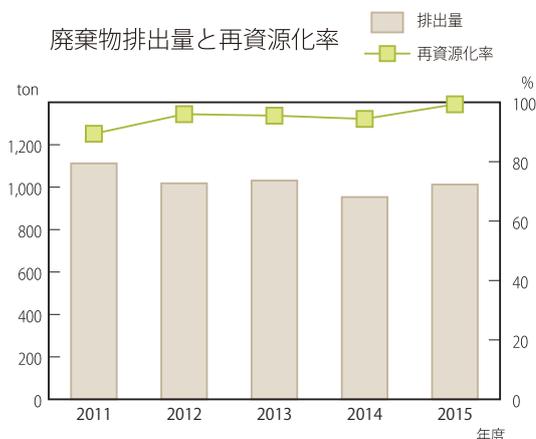
また、日本国内の営業拠点においても、下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2015年度には約1,000台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、21.8%は輸出され、世界の各地で使われています。

メーカーによるピアノ再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり80年を超える製造部門で長年の経験を持ち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から大変好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。

廃棄物排出量と再資源化率



廃棄物の再利用 (竜洋工場)

下取りしたピアノの再生リユース (2015年)

